

学校評価（R 4 後期）の考察

肯定率 80%を超える評価項目（B評価以上）は、職員が 17 項目中 17 項目（100%うち 15 項目は A評価）、児童が 13 項目中 13 項目（100%、全て A評価）と極めて良好である。しかし、保護者の評価は、B評価以上が 15 項目中 10 項目（67%）と前回より大きく評価を下げる結果となった。項目別に見ても、肯定率が 70%を下回る（D評価）ものが見られるなど、保護者の理解を得て、信頼を回復するための、早急な対応が必要である。

【項目ごとの分析と対応策】

○ 評価項目 1「楽しく分かる授業」

保護者肯定率は 83%と B評価を維持しているものの、前回評価と比較すると肯定率は 6 %低下している。職員肯定率 100%、児童肯定率 99%といずれも高いため、授業参観の頻度や実施方法等を検討し、児童の学びの様子を見ていただく機会を充実させたい。また、参観日にこだわらず、いつでも普段の授業の様子を見ていただけるようアナウンスしていきたい。

○ 評価項目 3「家庭学習」

保護者肯定率が 70%（前回比- 1 %、C評価）と低い水準を維持している。学校としては、効果的な家庭学習の在り方（質及び量）について担任同士の情報交換及び研修を推進してきたところである。学級通信や学年 P T Aにおいて、家庭学習についての担任の考えを周知し、保護者の考えを吸い上げることで、家庭の理解と協力が得られるよう努めたい。

○ 評価項目 4「読書」

児童肯定率は 97%と極めて高いが、保護者肯定率は、前回比- 6 %（肯定率 61%）と低い水準を維持する結果となった。学校生活において児童はよく読書に親しんでおり、放課後子ども教室でも、多くの児童が読書をしている様子が見られる。今後は休日や読書の日における読書についても、家庭と連携しながら読書時間と質の向上に努めたい。

○ 評価項目 6「目的意識」

保護者肯定率が前回比- 7 %（C評価）と低下している。職員肯定率 100%、児童肯定率は 99%と高いため、発達段階に応じて目的意識を持った言動が身に付いていると考えているが、保護者が望む姿には至っていないという結果となった。家庭や地域での生活においても、自ら考え質の高い言動のとれる児童を育てるため、日々の活動の中で一層細やかな指導を行いたい。

○ 評価項目 11「自分の命を守る力」

保護者肯定率が前回比- 6 %（C評価）と低下している。職員肯定率 100%、児童肯定率 99%に見られるとおり、学校では交通安全指導や避難訓練等を充実させ、「自分の命は自分で守る」ことを折に触れて指導してきた。今後は、ホームページや学校だよりを通じて、家庭への情報発信にも力を入れたい。

○ 評価項目 12「体力づくり」

保護者肯定率が前回比-14%（C評価）と大きく低下している。3 学期から始まった「朝マラソン」については、肯定的な記述意見を複数いただいているため、2 学期の「陸上練習」に対する評価と捉えている。前期評価でいただいた、「職員の言動」、「選手選考」等について、再度全職員の共通理解を図り、一人一人の児童に寄り添ったよりよい指導を目指したい。

○ 評価項目 16「業務改善」

職員肯定率が前回比+43%（100%、A評価）と大きく向上した。研修職員会における「業務改善・働き方改革」に関する協議を経て、出されたアイデアを着実に具現化することにより、業務の効率化、職員の負担感の解消等につながった結果であると考えられる。今後も更なる業務改善を推進していきたい。